

堺市の水利用・水環境の保全に関する 取組について

水利用の取組①

○堺市の水道水は100%琵琶湖由来（水源：淀川）

上流の滋賀・京都では、
下流（大阪府民）の水質
保全のため、下水の
高度処理を採用
してくれています



○上下水道局独自情報誌やHP等でのPR



すいちゃんからのおたより 堺市上下水道局 発行：経営企画室 令和6年10月

安全の証
～水道水の品質管理～
連続監視装置で3項目、水質基準項目【51項目】を職員が高精度かつ正確な検査をして、堺市の水道水の安全を守っています。さらに、最近ニュースのトピックにもなっている水質基準項目以外のPFOS/PFOA（※1）等も追加調査して、水道水の品質を確保しています。

法令による基準
3項目（毎日） + 51項目（定期） + 独自検査
PFOS PFOA

安全・安心で美味しい水を届けるために

美味しさの証
～測定結果と味覚のダブルチェック～
美味しさを損なう要素のひとつ「におい」。その中でも「かび臭さ」に関連する物質は、精密な分析機を使った1ミリグラムの100万分の1であるナノグラム単位の測定と訓練された職員が実際に口に含んで確認する官能検査、人と機械の両方で徹底管理しています。

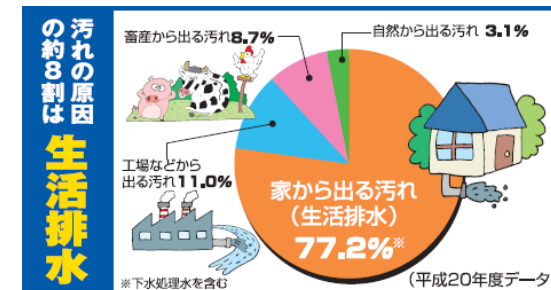
安心の証
～安定供給～
各施設を健全に維持するためには、日々の点検は欠かせません。異常があれば迅速に対応し事故を未然に防ぐことで、安全・安心、安定的な給水を継続し、皆様の健康と暮らしを守ります。

24時間365日、水質や水量、水圧などの情報は配水管理センターに集められ、センターでは刻々と変化する配水状況を見ながら各施設の運転をコントロールしています。

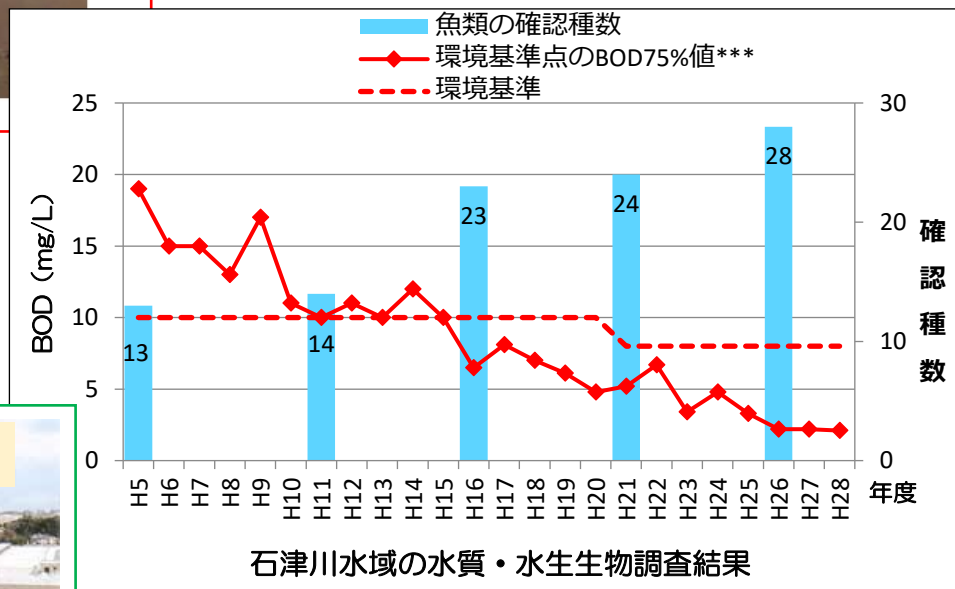


水道水の印象についての市民500人を対象としたアンケート
約 **8** 割の方に安心と感じていただいている

○下水処理の質的向上



平成26年度河川水生生物調査で石津川で初めてアユの仔魚を確認

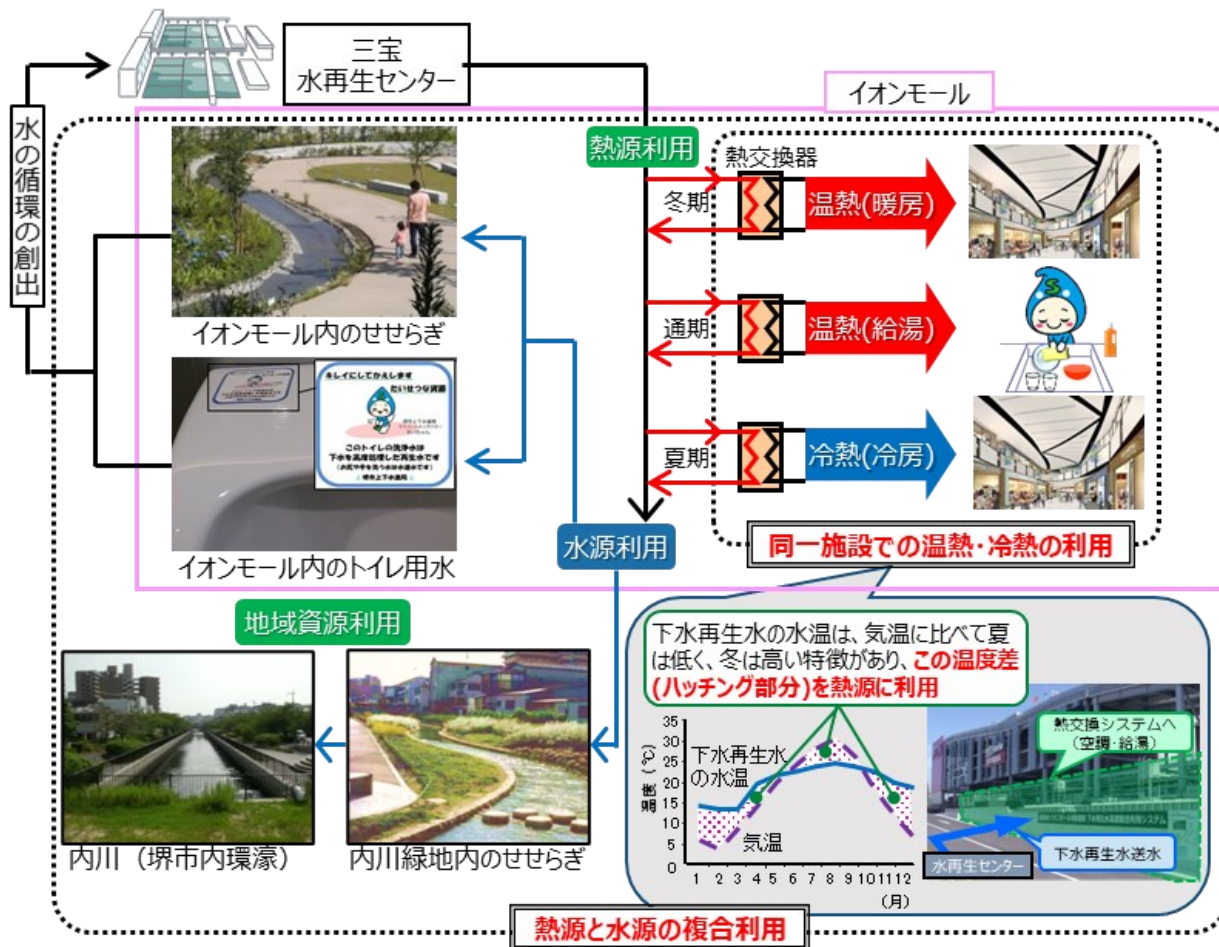


資料：公共用水水質等調査結果及び河川水生生物調査結果(堺市)



○下水再生水の活用（事例紹介）

- ▶ 下水から取り出す熱で建物を暖める・冷ます
- ▶ 熱源に使った水で環境を復活



水環境の保全に向けた取組①

○健康や生活環境の保護・保全、気候変動への対応力の向上、自然と共生するライフスタイルの実現

全ての人が幸せ(Well-being)に暮らす、
持続可能な環境イノベーション都市

堺環境戦略

都市像①

革新的イノベーションを結集した 脱炭素都市 Carbon Neutral

様々な革新的イノベーションの実装による、エネルギーの脱炭素化及び利用の最小・最適化、脱炭素型社会システムへの変革により、都市全体でカーボンニュートラルを実現する都市

都市像④

イノベーションを生み出し展開する 貢献・協働都市 Cooperation

様々な主体との連携・協働により、先進的な環境イノベーション技術を生み出し、これらの技術や経験を活かした周辺地域との共生や国際都市間協力を進めるなど、環境で周辺地域や世界をリードする都市

パートナーシップを軸に
“4つのC”をキーワードとした
持続可能な環境イノベーション都市を実現

都市像②

環境と経済とが調和する 循環都市 Circular

様々なモノの循環利用を前提とした、“4R”に根差した循環型社会の実現に加え、環境配慮型社会システムへの変革や環境行動への変容により、環境と経済が好循環する都市

都市像③

自然と共生した安全・安心で魅力ある 快適都市 Comfortable

人の健康や快適な生活環境が確実に保護・保全され、環境を基盤としたレジリエンスの向上や、自然と共生し生態系や緑がもたらす魅力あるライフスタイルを実現する、体も心も“快適”に暮らせる都市

パートナーシップ

- 水質環境の監視、指導・啓発
- 水生生物の調査、保全
- 都市河川の水質改善、水辺空間の活用

■ 水環境健全性モデル事業

水環境の保全に向けて

○令和6年度 水環境健全性モデル事業（事例紹介）

■事業の目的

- ・水質以外の観点によるモニタリング導入の検討
- ・環境省による「総合的な水環境調査」の制度設計・課題把握

■実施概要

- ・調査水域：河川2か所、湖沼1か所、海域1か所
- ・調査者：地域の小学生等
- ・調査項目：水質調査、生き物の豊かさ、景観、地域活動の有無等



調査説明



生き物調査



小学校との連携

■実施結果

- ・市民や学校との連携により、身近な水環境への理解を深める機会となった。
- ・水質以外の評価手法や、運用上の課題整理に向けた基礎資料として活用された。